

学校保健委員会

スマートフォン・タブレット等 メディア機器の使用実態について

雄山中学校PTA
令和3年12月11日(土)

1. 背景

近年、スマートフォンやタブレットの普及が進み、これらの利用時間増加に伴う、家庭学習時間の減少や、生活習慣の乱れにより、学力の低下が懸念されています。

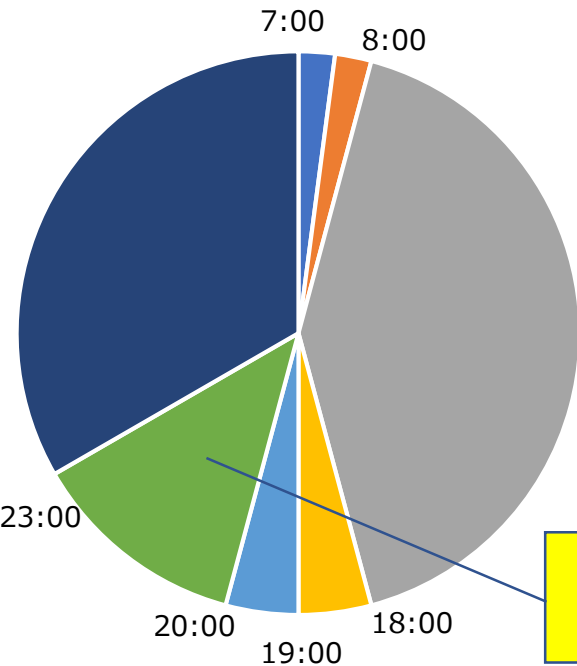
GIGAスクール構想により、学校からタブレット端末が配布され、家庭学習への利用も視野に入ることから、家庭におけるスマートフォンやタブレットの利用目的、使用時間等について学校・生徒・保護者で認識を共有するため、アンケートを実施させていただきました。

本アンケート結果が、家庭におけるメディア機器利用の在り方についてのキッカケや気づきとなれば幸いです。

出典：生活習慣アンケート調査結果2017(愛知県内小中学校)

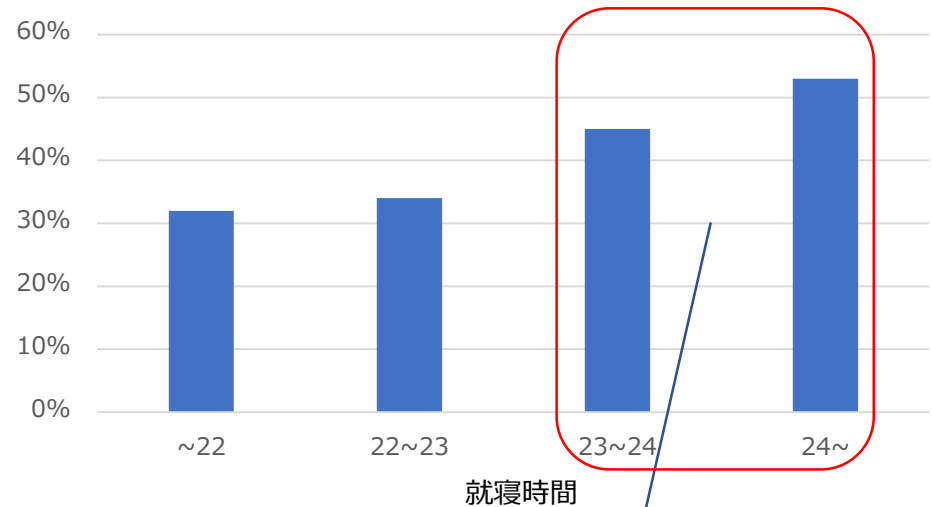
中学生の1日

- 起床
- 登校
- 学校
- 帰宅
- 夕食等
- 自由時間
- 就寝



家庭学習を含む
自由時間は3時間程度

Q.イライラすることがありますか？



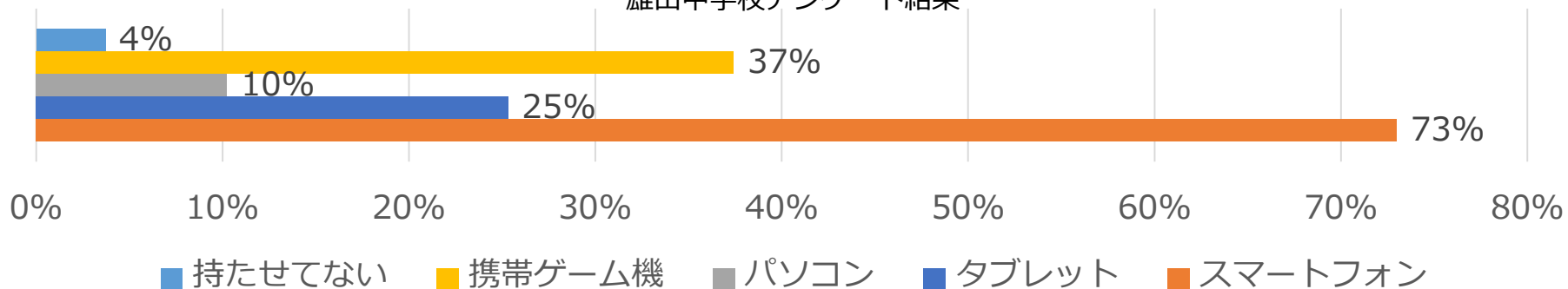
就寝時間が23時を超えると
心への影響が大きい。
8時間以上の睡眠が妥当。

2. メディア機器の所持率

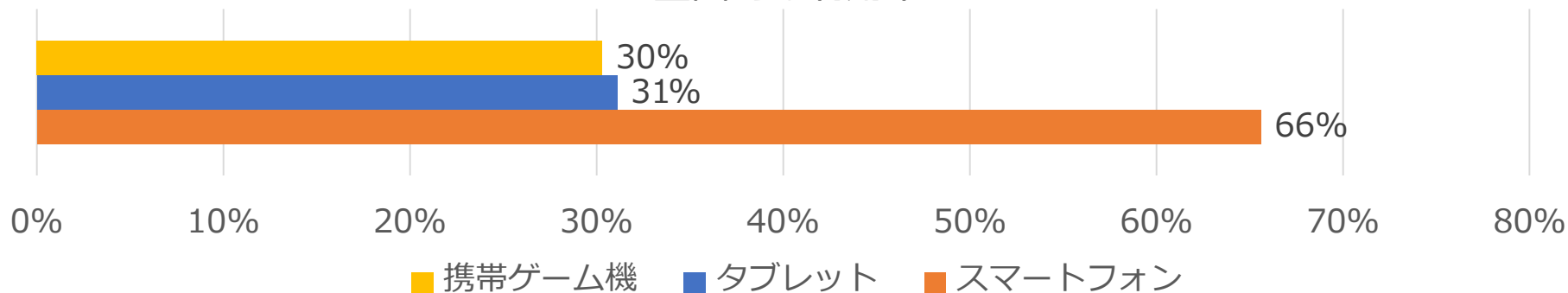
生徒の96%以上が何かしらのメディア機器を所持しており、全国的な調査結果と比較しても同等程度の利用率となっている。

Q.お子様にメディア機器を持たせていますか

雄山中学校アンケート結果



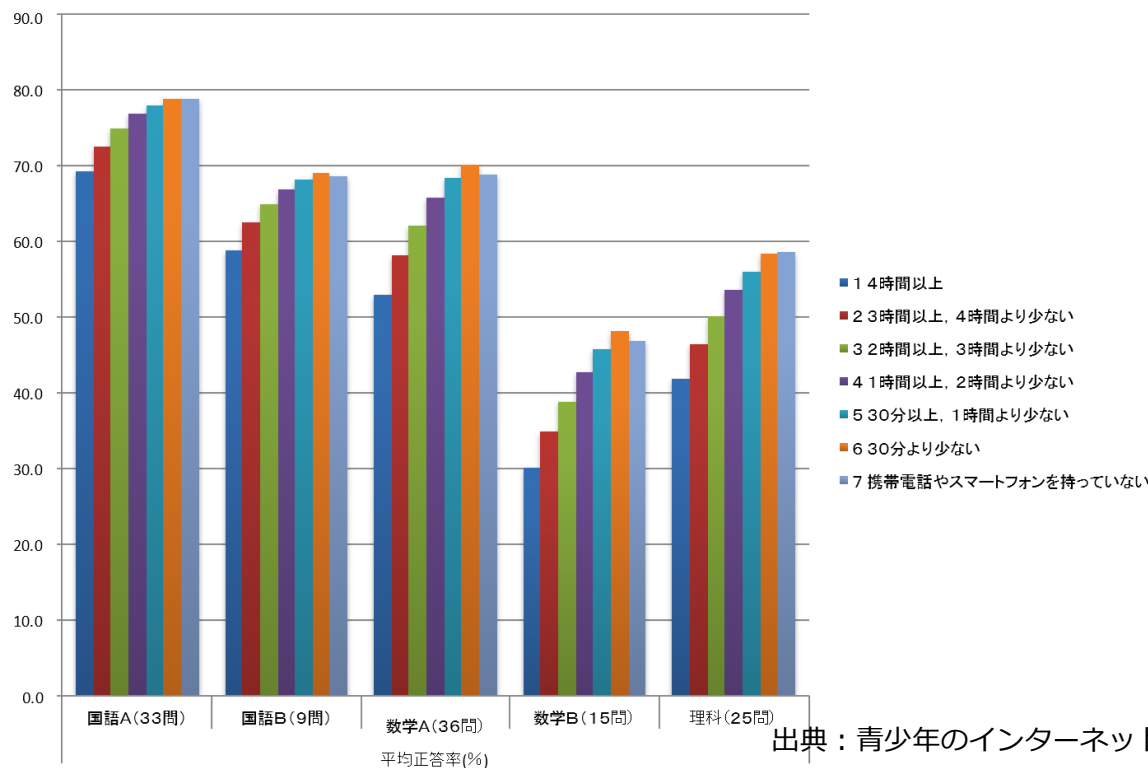
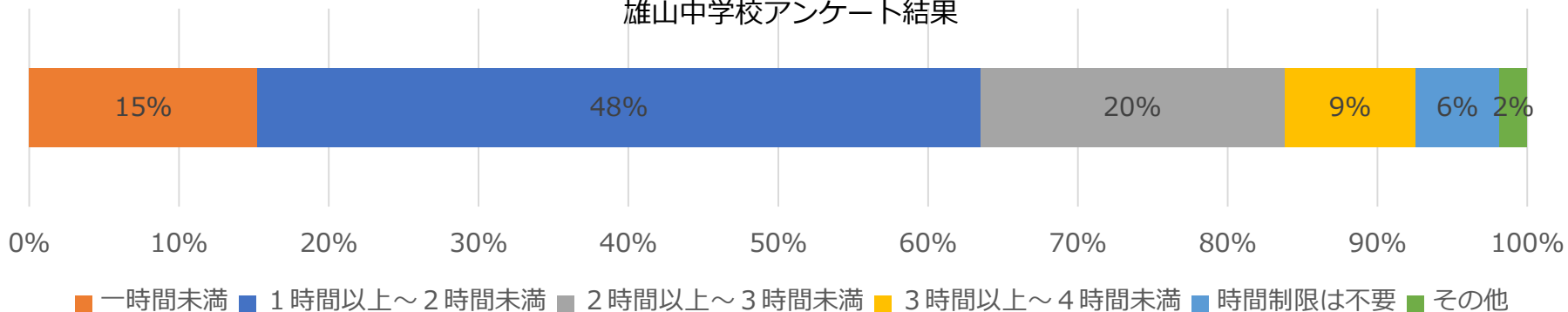
全国的な利用率



3. メディア機器の利用時間

Q.お子様のメディア機器の利用は一日何時間程度が適当と考えますか

雄山中学校アンケート結果



多くの保護者が感じている通り、利用時間と学力および家庭学習時間は基本的に反比例の関係にある。

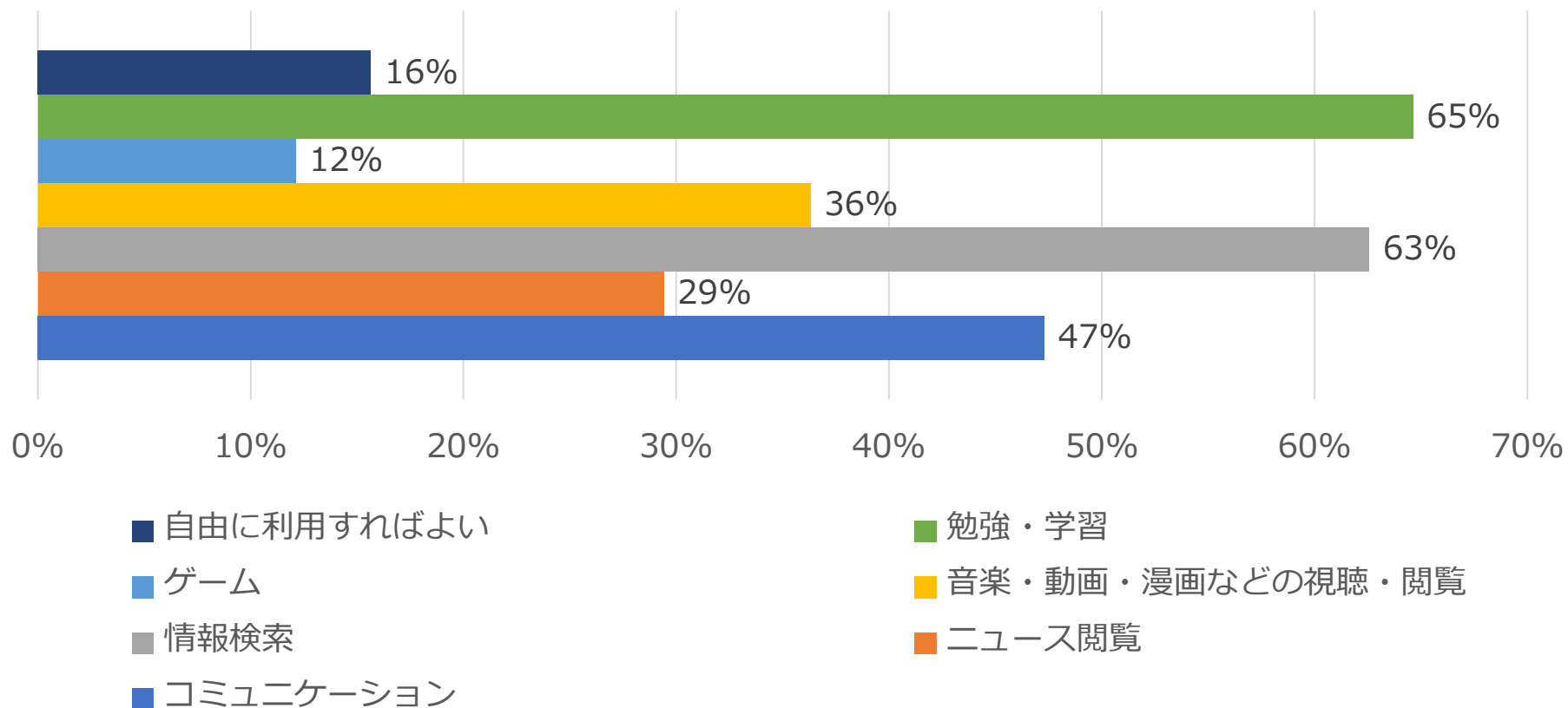
雄山中学校の保護者は、利用時間について、2時間未満の妥当と考えている。

2時間を超えて利用する場合、睡眠時間または家庭学習時間に大きく影響する。

4. メディア機器の利用目的

半数程度の保護者が、現代型コミュニケーションのツールとして必要と感じつつ、勉強・学習や情報検索など知識を得るツールとしても役立ててほしいと考えています。

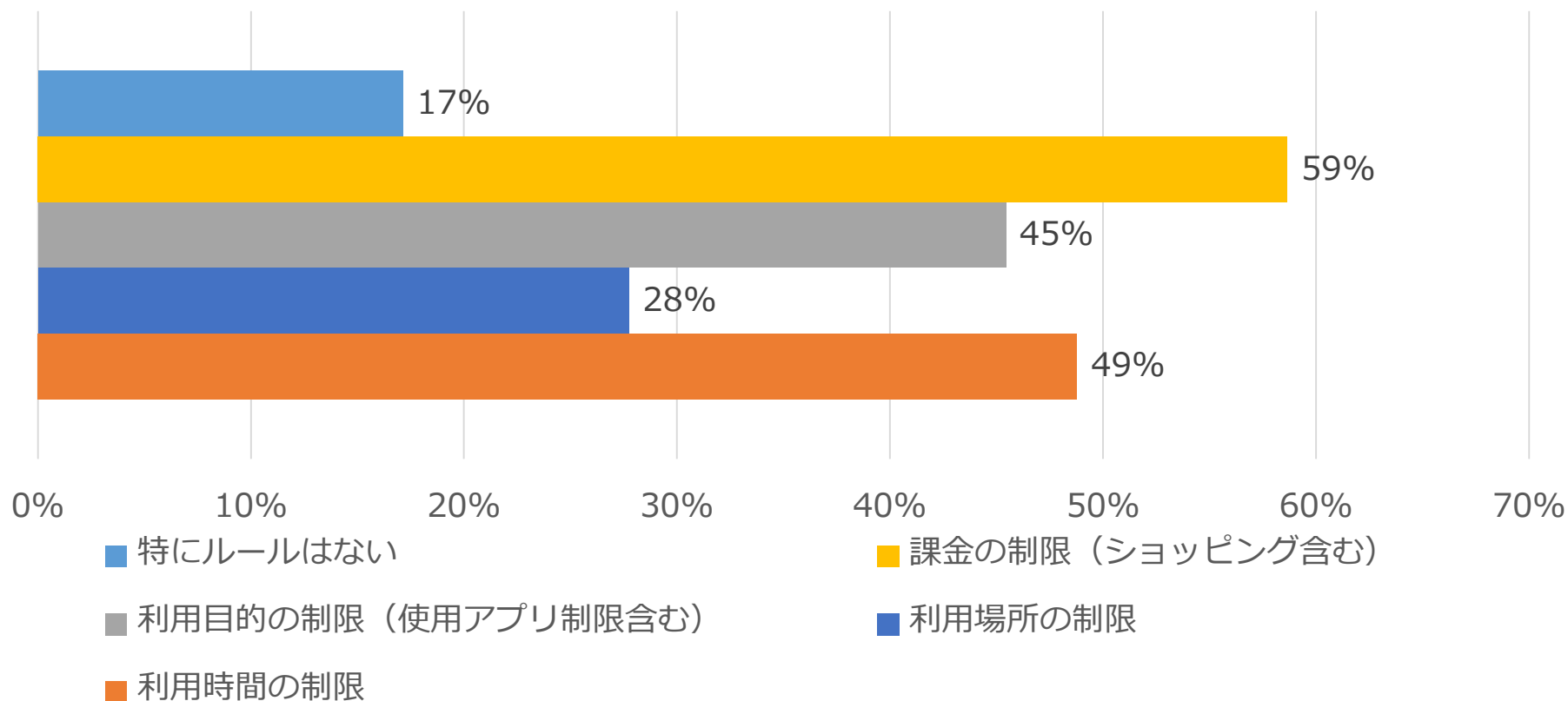
Q.どのようなことにメディア機器を利用してほしいと考えますか



5. メディア機器の利用制限

80%以上の保護者が、何かしらの利用制限を行っている。その他として「公式はフォローしてもよい」など相手先の制限や「保管場所を決めておく」、「保護者がいつでもチェックしてよい」などといったルールをご家庭で定めているところもあります。

Q.メディア機器の利用について家庭内にルールはありますか



5. メディア機器の利用制限（リスク管理）

主に未成年者の違法・有害なウェブサイトへのアクセスを制限するフィルタリング機能の設定は6割程度が行われている。2018年に法改正が行われ、18歳未満の青少年がスマートフォン等の契約をする際、事業者はフィルタリングサービスを提供することが義務付けられています。

個人情報の保護や犯罪の巻き込まれ防止として有用なサービスとして設定が推奨されています。

Q.メディア機器の利用についてフィルタリング機能を設定していますか

